

氏名：矢田 貴宏

派遣元：静岡県

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所属：総括担当

私は、政策企画・法制担当として部局内の法令や各種計画に関するとりまとめ等に携わりました。特に災害対策基本法の所管窓口として、各省庁や地方自治体からの問い合わせに対応したり、地域別防災研修では講師として災害法体系の講義を行うといった経験もできました。

近年、災害が激甚化していると言われるなかで、行政が担う防災の役割はますます大きくなっていくと思われます。そのためには国、県、市町村が一体となって防災に取り組む必要があり、静岡県庁に戻ってからは国と県をしっかりと繋ぐ役割を果たしていきたいと思っています。

氏名：伊藤 友孝

派遣元：千葉県

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所属：総括担当

総括担当にて、主に国会対応の調整を行いました。国会議事堂や議員会館へ行くことも多く、貴重な経験をすることができました。

政治の大きな流れが業務に影響することもあり、防災の知識以外にも視野を広げることができました。そうして得た知識・経験や、国という組織で働いて感じた課題を含め、今後の仕事をする上での大きな財産を築くことができたと思います。

千葉県でも首都直下地震や台風等の風水害への対策が急がれますが、国の検討状況など最新の情報を取り入れ、このOJTで作ることのできた顔の見える関係を活かして、緊密な連携ができるように取り組んでいきたいと思っています。

氏名：山口 嘉史

派遣元：神奈川県 大和市

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所属：総括担当

私は、主に国会や党部会、自治体等からの要望活動に関する調整業務を担当させていただきました。平成30年度は、災害が多かったこともあり、国会や党部会では防災や災害対応に関する議論が活発におこなわれましたが、党部会への議事録作成のための同席や、委員会の傍聴などでは、政治の動きを近くで感じることができました。

西日本豪雨や北海道胆振東部地震では、現地への派遣を経験しましたが、被災経験に乏しい地方自治体の職員として貴重な経験を積めただけでなく、各省庁、関係団体、ボランティア等がオールジャパンで被災者と被災自治体を支援する姿を見て、当市も今以上に防災をしっかりとやらなくてはならないと強く感じました。今後は、今回の研修で学んだことを防災業務に生かしていければと思います。

氏名：芳賀 慶太

派遣元：東日本高速道路（株）

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所属：総括担当

私は、総括担当にて、1年間大臣の閣議後記者会見や、記者公表、発災時の情報発信等の広報業務に携わり、非常に有意義な経験をさせていただくことができました。

今年度は災害が多く、関係省庁と調整しての情報発信や官邸での非常災害対策本部会議の運営に広報として携わる機会が多くありました。平成30年7月豪雨では岡山県に派遣され、直接被災地の首長に生のお声を伺うとともに、支援の制度をお伝えする機会をいただきました。

日々緊張の連続でしたが、国の災害対応のスピード感やダイナミックさを肌で感じるとともに、情報の受け手である被災者に寄り添う姿勢の大切さを学ぶことができ、大きな財産となりました。出向元に戻ってからも、内閣府防災担当で培った学びや人とのつながりを大切に、災害時に命の道となる高速道路の機能を高めるべく、使命感を持って業務に取り組もうと思っています。

氏 名：高橋 義則

派遣元：東京電力ホールディングス（株）

派遣期間：H28.7.1～H30.6.30

所 属：災害緊急事態対処担当

私は、災害緊急事態対処担当として、主に自然災害と原子力災害の複合災害発生時の関係省庁間の連携強化といった観点で、原子力防災担当や原子力規制庁等と連携して原子力総合防災訓練の企画調整等に携わりました。実災害対応としては、北海道・東北地方における一連の台風被害への対応や北九州豪雨、大阪北部地震等の政府の非常災害対策本部等の運営や現地派遣を経験しました。

さらに、「大規模地震・津波災害応急対策対処方針」や「南海トラフ地震における具体的な応急活動に関する計画」等の改定を通じて、政府の災害対応の中核と呼ばれる環境で、マクロな視点で関係省庁間の役割や連携について学ぶということができ、災害対応に関する視野を広げることができたと感じています。

また、研修を通じて築いた国の職員をはじめ様々な自治体の職員や関係機関の方々との、人脈についても今回の財産とっており、今後も大切にしていきたいと思えます。

氏 名：岡崎 信吾

派遣元：東京消防庁

派遣期間：H29.4.1～H31.3.31

所 属：災害緊急事態対処担当

災害緊急事態対処担当として、政府の非常災害対策本部等の運営や数多くの現地派遣を経験するとともに、災害応急対策に関する各種計画、マニュアル類の改訂作業に携わったほか、自然災害以外にも原子力災害や大規模火災等の事故災害に係わる訓練等に携わりました。

災害を経験し、新たな課題が浮上する中で、その課題から教訓を得、教訓を踏まえ災害対策を考え、そして訓練等により次の災害に備えるという、このプロセスそのままに研修業務を経験させていただき、業務一つ一つが関連づいた大変有意義な研修でありました。

氏 名：新津 和樹

派遣元：山梨県

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：災害緊急事態対処担当

1年間の研修で、首都直下地震や南海トラフ地震における応急対策活動に関する計画の改定作業、災害時の物資調達・輸送の支援に関する業務などを行いました。

通常業務外では、米軍病院船の日本初寄港があり、関係省庁や有識者、一般参加者など、多くの方が関わる事業に携わりました。関係者間の調整や事前の綿密な準備など、とても勉強になりました。

災害対応では、内閣府での初動対応のほか、現地派遣業務を経験し、緊張感のあるなか連絡調整等を行ったことが印象に残っています。被災地で「におい」や「規模感」を感じ、災害対応ではいかに想像力を働かせるかが重要であることを学びました。これらの経験を今後の業務に活かしていきたいと思えます。

氏 名：星野 英雄

派遣元：ソフトバンク（株）

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：災害緊急事態対処担当

首都直下/南トラ地震具体計画の改定、米海軍病院船マシー東京寄港、政府調査団の一員として7月豪雨や北海道地震等への対応をしました。国の職員として、各種法律等について学んだり、要人と随行したり米軍と打ち合わせしたりした経験は、防災に関する知識や対応能力が高まっただけでなく、関係機関との調整力、そして何よりもロジと言われる段取り力を磨くことが出来たのが、非常に貴重で今後活かせるありがたい経験でした。

出会った一生付き合っていきたい仲間たちとも連携して、防災に限らず、日本をより良くしていけると確信しています。素晴らしい機会を与您いただき感謝の言葉しかありません。ありがとうございます。

氏 名：岩井 雄祐

派遣元：岐阜県

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は地方・訓練担当で、自治体職員を対象とした防災研修に関する業務に従事しました。主な業務である「有明の丘研修」は、有識者の監修によりカリキュラムが作りこまれており、その充実ぶりに驚かされました。

また、平成30年7月豪雨では被災地へ派遣され、現場を見聞きし、災害のイメージを掴めたのは貴重な経験となりました。

この他、業務外では同じくOJTで派遣された職員との交流を深め、それぞれの派遣元で抱える課題などを共有できました。偏にこの研修だからできたことだと思います。

県民の生命・身体・財産を守る上で、防災はなくてはならない大切な業務です。内閣府防災での経験を活かし、災害に強い安全・安心な岐阜県づくりに寄与したいです。

氏 名：鈴木 浩平

派遣元：東京消防庁

派遣期間：H29.4.1～H31.3.31

所 属：調査・企画担当

2年間、火山防災対策の事前計画・対策関係の業務に携わりました。

全国的に見ると火山防災対策を実施している自治体は少数です。そのため、火山防災対策業務の経験者は、地震や水害等の他の災害に比較しても少なく、新たに火山防災担当者になった方は、計画や対策の立て方のノウハウもなく、相談相手も限られている状況です。

そのような火山防災の状況下で、計画や対策の立て方に関するノウハウの紹介を行い、情報交換の場を設けることで火山防災対策の推進を図ってまいりました。

このような取組を通じ、防災対策の考え方を学び、マネジメント力等を向上させることができたことは、私の大きな財産となったと感じております。

氏 名：宮本 耕太郎

派遣元：和歌山県

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：調査・企画担当

私は調査・企画担当において、主に地震対策の検討に携わりました。主な業務は、地震防災に関する検討会の資料作成や有識者・関係省庁等との調整であり、また研修として様々な関係機関の施設見学や講義を受講させていただきました。9月に発生した北海道胆振東部地震では、発災直後に政府現地連絡調整室の一員として活動し、被災地を肌で感じる貴重な経験をさせていただきました。

本研修を通じて感じたことは、物事の流れるスピードがとにかく早いことです。目まぐるしく、かつ慌ただしく毎日が過ぎていく、これが国の行政機関であり、国を動かすということなのだとして一年を経過しようとしている今となっても感じるどころです。また、防災は事前準備と経験が重要ということです。発災後一秒でも早く組織・地域を立て直すために最も重要な要素であると、感じました。

見たこと、感じたこと、経験したこと、繋がったことを一つでも多く今後活かせるように、また和歌山県に還元できるように日々精進していきたいと思っています。

氏 名：遠藤 晃

派遣元：KDDI（株）

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：防災計画担当

私は、民間の指定公共機関から派遣され、OJT研修を受けさせていただきました。

防災スペシャリスト研修において防災に関する基礎知識を体系的に、また、実践的に習得することができ、また、個人では見学できないような施設見学も用意されており、とても充実した時間を過ごすことができましたと思っています。

一方、職場では当初戸惑うこともありましたが、周囲のサポートのおかげで、求められたミッションの一つである災害情報を一つの地図上に重ね合わせて災害対策に関する戦略立案をサポートする「災害情報ハブ」業務に集中することができました。特に、大阪北部地震、平成30年7月豪雨、北海道胆振東部地震において現地災害対応の支援にわずかでも貢献できたことは大きなやりがいを感じました。帰任後も本研修で得た知識・経験を職場で活かしつつ、引き続き防災関係者に協力していきたいと思っています。

氏 名：竹樋 太助

派遣元：新潟県 三条市

派遣期間：H29.4.1～H31.3.31

所 属：被災者行政担当

私は、被災者行政担当に2年間配属され、主に被災者台帳制度を担当し、制度の運用に関する各種検討などを行いました。このほか、マイナポータルの活用に関するガイドラインの作成業務、国会対応のロジなどの室内総括をはじめとした多岐にわたる業務を行いました。

OJT研修を通じて、防災に関する知識を取得し、国・地方を問わず様々なつながりを築くことができ、また、何よりも、国の執行機関における意思決定の過程を知ることができたことは、何ものにも代え難い経験となりました。

帰任後は財務課に配属となり、直接防災行政に携わる機会は多くありませんが、有事の際には、OJT研修の経験を踏まえ、「防災スペシャリスト」として災害対応に従事できるよう、アンテナを高く持ち続けたいと思います。

氏 名：川路 雄介

派遣元：鹿児島県 鹿児島市

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：被災者行政担当

配属先の被災者行政担当では、主に室の総括、被災者台帳、避難行動要支援者名簿に関する業務に携わりました。在任中は、各地で災害が多発したこともあり、被災地への派遣や担当する業務以外にも広く携わることができ、非常に貴重な経験をさせて頂きました。

特に、災害対応にあたっては、被災自治体や関係省庁のみならず、他自治体からの応援や民間団体等の多くの機関の方々が主体的に取り組んでおり、それぞれが相互に連携しているということを実感し、人とのつながりが大事であると強く感じました。

今後は、この研修で学んだ経験や知識を活かし、また関わって頂いた方々とのつながりを大事にして、派遣元での業務に従事して参りたいと思います。

氏 名：篠原 直人

派遣元：佐賀県 唐津市

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：被災者行政担当

私は本研修で、主に「災害救助法」を担当しました。

「災害対応は発生前の準備ですべてが決まる。特に発災直後の応急救助ではそれが顕著に表れ、発災後の臨機応変な対応もその準備があって成り立つものがある。」

これは本研修で学んだ、最も重要な事柄でございます。

平成30年度は例年に比べ、災害救助法適用自治体が多かったこともあり、さまざまな自治体の職員さんと連携をさせて頂きました。ひたむきに復旧・復興に向けて尽力されている姿は、私自身の自治体防災担当職員として、あるべき姿を確立することができた貴重な経験となりました。

本研修でお世話になった方々への御恩を、唐津市の地域防災力向上、また他自治体への被災地支援に還元していきたいと思っております。

氏 名：堤 貴明

派遣元：静岡県 島田市

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：被災者行政担当

私は、被災者行政担当にて災害時の自治体の主な業務の一つである避難所について担当をさせて頂きました。

今年度は、地震や豪雨といった災害が立て続けに起こり、多くの人と協力して被災地に対する支援を行う中で、様々な視点から行う災害対応等の知識を得ることができました。

また、担当業務以外にも、有明研修を受講させて頂くことで、担当業務だけでなく幅広い分野を知ることができたことも非常に良かったです。

この1年間の研修を通じて防災における知識だけでなく、さらに「熱意」も得たと思っています。

今後は、派遣元の危機管理課に戻りますが、この1年で得た人との「つながり」も大切にしながら、得た知識・熱意を活かして、防災力の向上に努めていきたいです。

氏 名：黒瀬 康明

派遣元：広島県

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：事業推進担当

私は、事業推進担当に配属され、住家の被害認定調査・罹災証明書交付業務、被災者の住まいの確保の検討などに携わりました。平成30年度は、災害が多く発生し、多忙な1年間となりました。

発災後は、内閣府情報先遣チーム派遣、被災自治体職員に対する説明会、国会や議員対応などに携わらせていただき、国の防災の第一線を肌身で経験することができました。

一方、平時は、自治体職員の方が行う業務が、効率かつ迅速に行えるように、関係図書等の作成・改定など、やりがいの大きな仕事に携わらせていただきました。

研修を通じて、知識の習得や国の方々の熱意を間近で感じる事ができましたので、今後はこの経験を本県の防災向上に生かしたいと思います。

氏 名：上田 奈穂子

派遣元：イオン（株）

派遣期間：H30.4.1～H31.3.31

所 属：事業推進担当

私は所属組織から初代のOJT研修生として派遣されました。2018年は大規模災害が多く、発災直後から現地リエゾンとして広島県や北海道で任務にあたり、被災された方々に寄り添う対応とは何かということに、現場で正面から向き合う体験をいたしました。

国職員に必要な視座や考え方、各種ルールや、国省庁・地方自治体・各種団体との連携や顔の見える関係を習得できたことは、OJT研修制度があったからこそ体得できたことであり、私の一生の財産です。

所属組織に戻り、多面的な視点で物事を捉え、学んだことをフル活用しながら、微力ながら地域社会の防災力向上の一助になる取組みに邁進し続けてまいります。